

機械器具 01
一般医療機器 手術台アクセサリ (JMDN コード：70469000)

エイトフィット

【警告】

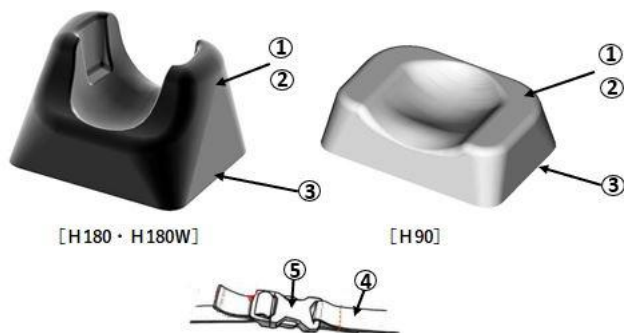
・エイトフィットを使用するときは、常に患者の状態を監視すること。（長時間の体位は、神経麻痺や褥瘡の原因となります。）

【禁忌・禁止】

・エイトフィットの材質（ポリ塩化ビニル・ポリウレタン）に過敏症がある患者には使用しないでください。

*【形状・構造及び原理等】

＜形状図（代表図）＞



＜原材料＞

【固定ベルトなしタイプ】

- ①パット（本体）：発泡ポリウレタン
- ②表皮材：ポリ塩化ビニル・ポリウレタン
- ③底面滑り抑止シート：ポリ塩化ビニル

【固定ベルト付きタイプ】

- ①パット（本体）：発泡ポリウレタン
- ②表皮材：ポリ塩化ビニル・ポリウレタン
- ③底面滑り抑止シート：ポリ塩化ビニル
- ④固定ベルト：ポリエステル
- ⑤固定具：ポリオキシメチレン

【使用目的又は効果】

手術台に付属するアクセサリで、手術時患者の頭頸部を支持する。

*【使用方法等】

1. 使用方法

ー固定ベルトなしタイプ使用の場合ー

- ① 使用前にエイトフィットの破損、汚れ、異物付着がないことを確認する。
- ② エイトフィットの上下位置を確認の上、患者の頭部が配される手術台の頭部側左右中央部に仮置きする。
- ③ 患者を手術台に乗せ、手術体位に応じた姿勢を取る。
- ④ エイトフィットの上下位置を再確認し、体位に応じた患者の頭頸部への当たり具合を確認の上、位置決めを行う。

- ⑤ 手術中、位置ズレが発生していないか、適宜確認の上、発生していた場合、最適位置へ調整する。
- ⑥ 手術終了後、通常手技に則り清拭等を行い、所定の場所に戻す。ー固定ベルト付きタイプ使用の場合ー
- ① 使用前にエイトフィットの破損、汚れ、異物付着がないことを確認する。
- ② エイトフィットの上下位置、固定ベルトの長さを確認の上、患者の頭部が配される手術台の頭部側左右中央部に仮置きする。
- ③ 患者を手術台に乗せ、手術体位に応じた姿勢を取る。
- ④ エイトフィットの上下位置を再確認し、体位に応じた患者の頭頸部への当たり具合を確認の上、位置決めを行う。ベルトの締め具合を確認し固定する。
- ⑤ 手術中、位置ズレが発生していないか、適宜確認の上、発生していた場合、最適位置に調整する。
- ⑥ 手術終了後、通常手技に則り清拭等を行い、所定の場所に戻す。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・患者に無理な姿勢をとらせたり、無理な力がかからないように使用すること。
- ・頭頸部が適切な位置に保持され、エイトフィットにずれが生じていないことを常に確認すること（機器の移動による患者の頭頸部への過負荷防止と麻酔回路等の外れ防止のため）。
- ・ベッドにエイトフィットの固定が必要な場合は、固定ベルト付きタイプを使用すること（破損の原因となるので他の固定具等を使用しないこと）。
- ・患者の体位固定後、エイトフィットに手術者等の不用意な負荷力が掛らないようにすること（エイトフィットのずれの原因となる）。

【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- ・水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
- ・化学薬品や溶剤等とその影響がある場所には保管しないこと。
- ・破損、汚損したものは使用せず、新しいエイトフィットに交換すること。

【取扱い上の注意】

- ・汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに清拭・消毒すること。
- ・エイトフィットは薬液等には浸漬しないこと。
- ・エイトフィットは滅菌しないこと。
- ・清拭する場合は、消毒用アルコール等を使い、表皮材を損傷する溶剤を含む薬液は使用しないこと。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：浜口ウレタン株式会社

<https://hamaure.co.jp>

住 所：静岡県浜松市中央区西山町 1961

電 話 番 号：053-485-1331

製 造 業 者：浜口ウレタン株式会社 神ヶ谷工場